

「観」住まい

和氣満々。井手家の人々。

7月1日。午後の一時。古民家再生中の井手家の人々にお会いした。長男の井手良治さんとその奥様。再生中の井手家の真向いに住んで、この古民家を守り続けた末弟の治助さんとその奥様。
再生中の現場の一隅に座机を置いて、お茶をいただきながらお話をうかがった。



良治さん（以下、良）「私は22才で家を出て以来、佐賀に戻ってないんですよ（笑）。その間、前に住んでいる末弟夫婦が、両親とこの家をずっと守ってくれましてね。二人には本当に感謝しています。オヤジは20年前に、オフクは去年亡くなりました。」

オヤジが亡くなってからは、この家をどうするか、私の積年の課題になっていましたね。弟からは、家が古くなって雨漏りしてる、ホラ、聞こえるやろ（笑）とか、台風が来た、地震が起きた、とその都度電話をもらっていました。

オフクが亡くなってからは、大阪と千葉にいる弟・妹たちも加わって、何度か家族会議もやって：「兄ちゃん達もずーっと太宰府に住んで、友達もたくさんいるし、今さら佐賀に戻るといっても大変やろ、と言ってくれたりするんですが、本音は、やっぱり長男に戻ってらっしゃる、この家を残して欲しい（笑）」

私も太宰府で史蹟ガイドの真似事をしたり、ボランティアで九州国立博物館の展示解説をやったりして、歴史の大切さは感じていました。20年程前に佐賀の教育委員会が佐賀の環境遺産調査をやった時に、この家も調査対象になって、明治初期の商家の姿がそのまま残っていると、学術的に評価されたことも、ずつと頭にあたりして…。

やはり、歴史からは逃れられないのかな、私のライフワークの一つ、最後の仕事かな、と。世界文化遺産のような大それたもんじゃなくても、市民文化遺産というか、ですね。」

治助さん「何と言っても、自分たちの生まれ育った場所ですし、盆・正月に限らず、伯父さん、伯母さん、たくさんいる従兄たちも集まってくるし、こわしてしまおうにはちょっと…何とか残したいな、という想いはずーっとありましたね。」

良「そうなんです。ここはまあ、本家ということもあって、戦後、親戚がみんなこの周辺に集まって来ましてね。誰の子、彼の子じゃなくて、ここにみんなが集まって一緒にダコ汁すったり（笑）一族が肩寄せ合って生きてきた。そういう形で育ってきたんです。」

特にこの家はモロに長崎街道に面しているでしょう。こわすのは簡単だけど、学術的にも評価された市民遺産を、そんな簡単にこわしていいのかな？と。

私だけの考えで決めることでもないですし、もちろん女房の意見もききました。たまたま、女房も佐賀の唐人町育ちですし、佐賀に戻ってご先祖を守っていきましょ、と、言ってくれた。ええ、うれしかったですね（笑）

この仏間に代々の仏壇があったんですが、古くなって相当傷んでましてね。戻るんなら、まず一番に仏壇を何とかしなきゃ、と。新しいものを買って、仏壇にもよかったです。かなり話し合っていて、仏壇には先祖の御霊がずっとある、そのおかげで私たちがここに居るわけで、やっぱり仏具師さんに頼んで、元通りに修理してもらおう、と。

仏壇を修理してから入仏法要をしたんですが、住職さんに「良さん、こがんことは滅多になかよ。あんたはよかことしたよ」と、えらくほめられましてね（笑）。ええ、これもうれしかったです。このあたりで、女性陣も発言をどうぞ（笑）」

奥様「ハイ（笑）。やっぱり長男のところに嫁に来た以上、仏壇を大事にしなきゃ、という想いはありましたね。ご先祖を守るのは当然ですから。それに、この兄弟はみなさん、とても仲がいいんですよ。特にご両親とこの家をずーっと守ってこられたこのご夫婦は、とってもいい方達で、すごく感謝しています。」

私達二人だけだったらちょっと心許ないけど（笑）このお二人が側にいらっしゃるから、戻っても何とかやっていけるな、と。」

良「御縁があって、松尾さんにこの家を見ていただき、いろんなプランを出していただきました。比較的キチンと残っています、と診断していただいて、『百年もてた家は手を加えれば、もう百年もちますよ』と。」

松尾さんのこの一言で、再生を決定できました。ええ、本物の信頼関係がなければ、こんなことはそれこそできるもんじゃありません。習いたての拙ない短歌ですが一句。」

古き家は 手を加ふれば これからも 末代までも 保ちいくなり。
和氣満々。明るい笑いの絶えない井手家の人々。井手家の空間に流れる心地よい空気が、井手家の人々そのものでもある。

人が呼吸をするように、家も呼吸をします。
人が鼓動を打つように、家も鼓動を打ちます。
生きとし生けるものすべてが相和し、響き合うように、人と家も相和し、響き合います。
そのために、私たちに出来ること——それは「ひとつになること」。
そう思うのです。

ゆめきこう
有限会社 夢本香
☎0120-835-832
http://www.e-house.co.jp/yumekiko/
e-mail: yumekikou@globe.ocn.ne.jp
TEL 0954-69-8333 / FAX 0954-69-8334
佐賀県鹿島市大字三河内甲 2487

